

令和元年 5月 20日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会  
会 長 森 川 英 典

### 第 505 回 構造懇話会 令和元年度 幹事会および例会のご案内

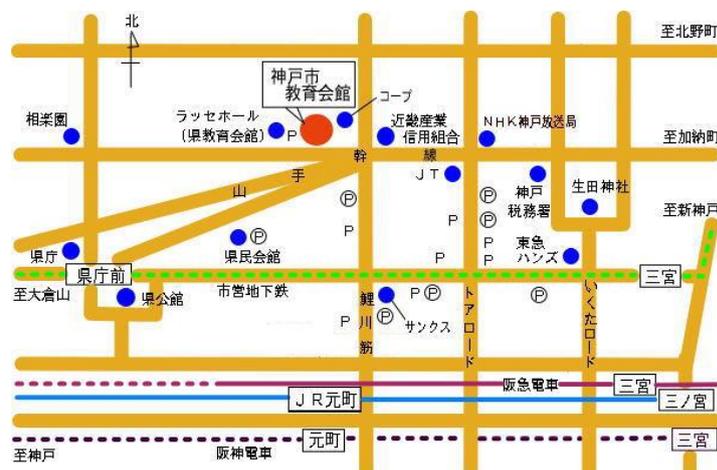
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。  
標記の令和元年度幹事会および例会を下記のとおり開催いたします。  
つきましては、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 日 時 令和元年 6月 18日 (火) 13:30～16:30
2. 場 所 **神戸市教育会館 404号室**  
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
  - 1) 幹事会 13:30～14:20  
休憩 14:20～14:30
  - 2) 例会 ①部 14:30～15:25  
『FBG光センサーを用いたPC橋のモニタリング手法について』  
神戸大学大学院博士後期課程 (三井住友建設) 玉置 一清 氏  
休憩 15:25～15:35
  - 3) 例会 ②部 15:35～16:30  
『小規模吊橋 (備後橋, 樋島大橋) の補修工事報告について』  
日本橋梁株式会社 中原 智法 氏

[連絡先] 〒567-0087 大阪府茨木市丑寅 2-1-34  
協和設計 株式会社 赤木 昌詩  
TEL : 072-627-9351 / FAX : 072-627-9357 / e-mail : akagi@kyowask.co.jp

[案内図]



## 第 505 回 構造懇話会 例会での報告概要

### 1. 『 FBG光センサーを用いたPC橋のモニタリング手法について 』

#### ①報告者

神戸大学大学院博士後期課程（三井住友建設） 玉置 一清 氏

#### ②報告内容

橋長 2m 以上のすべての道路橋に 5 年に 1 度の近接目視による点検が義務付けられる等、橋梁の老朽化対策が本格始動した。こうした中、橋梁管理者では、予算や人員、技術力の不足といった共通の課題を有し、今後は、いかに効率的、効果的に橋梁の状態を把握し、適正な維持管理に取り組むかが喫緊の課題となっている。また特に PC 橋の場合、目視による変状により内部鋼材の腐食状況を把握することは極めて困難である。そこで、維持管理コストの縮減、診断の容易さを目的とした新しい橋梁維持管理手法として、高耐久性を有する FBG 光ファイバーを用いた PC 橋のモニタリング技術の提案を行う。

### 2. 『 小規模吊橋（備後橋、樋島大橋）の補修工事報告について 』

#### ①報告者

日本橋梁株式会社 中原 智法 氏

#### ②報告内容

国内には昭和 40 年前後に多くの小規模吊橋が建設されているが、半世紀が経過した現在では、経年劣化や疲労損傷から補修や補強が必要とされている吊橋が数多くある。しかしながら、これらの吊橋は維持管理の困難な地形の厳しい山岳部や海峡部に架橋されていること、吊橋という特殊な構造で補修方法が一般化されていないことから、大規模な補修工事が実施された例があまり多くない。

本報告は、吊橋特有の構造である主索と吊索に着眼し、最近施工した小規模吊橋の補修工事から、主索防食（テープ巻き工法）と吊索取替えについて、現場施工の様子や工夫を報告する。